

「自立」「学習から」「自律」「学習へ

——自主的に学ぶ姿勢と学習時間、学力の関係

生徒の学習を「自立」したことから、更に「自律」したもののへとなるよう指導することで、生徒の家庭学習時間や学力にどのような違いが生まれるのだろうか。調査データを基に分析した。

「神奈川県公立中学校の生徒と保護者に関する調査報告書」調査概要

- **調査主体**／ Benesse教育研究開発センター、東京大学比較教育社会学コース共同研究
- **調査期間**／ 2009年10月～2010年1月
- **調査対象**／ 神奈川県の公立中学校の中学2年生2874人と、その保護者2411人

■ 今回データ分析で使用した変数

◎ 家庭学習時間（平日・休日含む）

「ほとんどしない」を0、「30分くらい」を30、「4時間くらい」を240、「5時間以上」を330として得点化し、その得点を平日については5倍、休日については2倍して合算して算出。「391分以上」を「長い」、「61分～390分」を「中くらい」、「60分以内」を「短い」としている。

◎ 家庭の所有財得点（経済階層）

「美術品（例：絵画）」「食器洗い機」「デジタルカメラ」「プラズマ・液晶テレビ」「文学作品」等、所有財が「5～8個」を上位層、「0～4個」を下位層としている。

◎ 母親の学習関与

「しっかり勉強するように言っていた」について「とてもあてはまる」「まああてはまる」を「しっかり勉強指導あり」、「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」を「しっかり勉強指導なし」としている。

◎ 主体的学習意欲（意欲・態度得点）

「わからないことや知らないことがあるとまず自分で調べる」「ものごとがうまくいかないとき自分で原因や解決方法を考える」「うまくいかかわからないことにも意欲的に取り組む」それぞれについて「とてもあてはまる」を4、「まったくあてはまらない」を1として得点化し、9～12点を「高い」、7～8点を「中くらい」、3～6点を「低い」とした。

◎ 意識レベルの自律学習

「できている」は、「勉強積極的」（生徒への質問項目「学校での勉強に積極的に取り組んでいる」について「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した生徒）かつ「親が言わない」（保護者への質問項目「子どもに『もっと頑張りなさい』と言う」について「あまりない」「まったくない」と回答した保護者）のクロスによって抽出される対象。一方、「できていない」は「勉強積極的」だが、「親が言う」（保護者質問項目「子どもに『もっと頑張りなさい』と言う」について「よくある」「ときどきある」と回答した保護者）のクロスによって抽出される対象。

◎ 行動レベルの自律学習

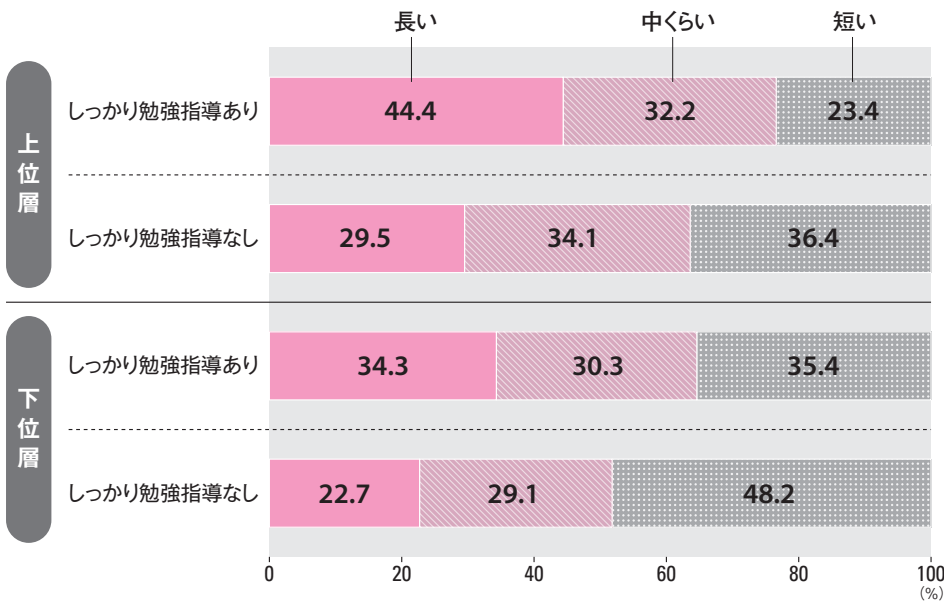
「できている」は平日の家庭学習時間を比率が3等分になるように「長い」「ふつう」「短い」の3グループに分け、平日の家庭学習時間が「長い」「ふつう」かつ「親が言わない」のクロスによって抽出される対象、「できていない」は平日の家庭学習時間が「長い」「ふつう」かつ「親が言う」のクロスによって抽出される対象。

◎ 学業成績

「あなたの成績は同じ学校にいる中学2年生の中でどれくらいだと思いますか」に対する回答を用いて「下のほう」「やや下のほう」を「下位」、「中くらい」を「中位」、「やや上のほう」「上のほう」を「上位」としている。

1 母親が「しっかり勉強するよう」に言っていた生徒ほど、家庭学習時間が長い

■中学校入学前に母親が子どもの学習に関する度合いと生徒の家庭学習時間



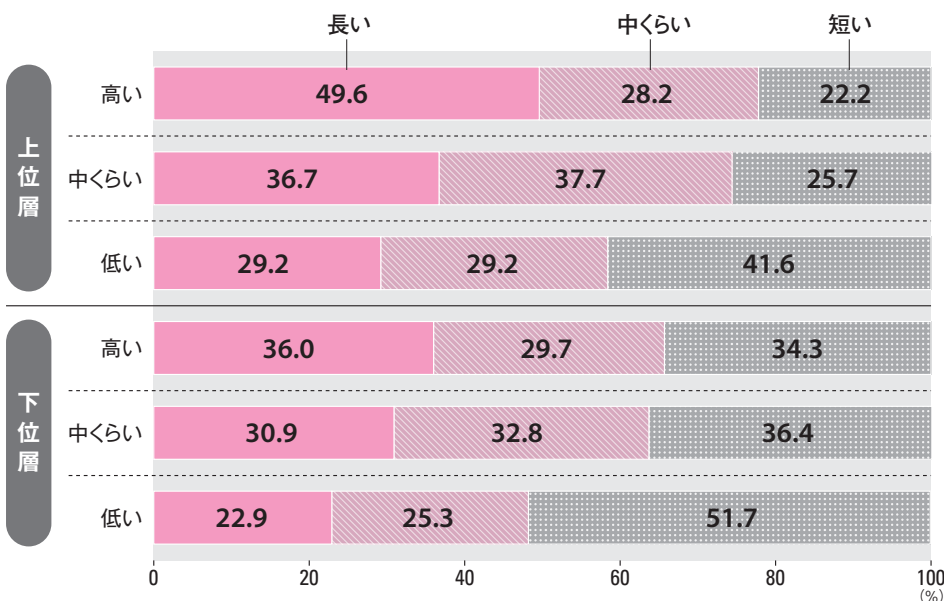
注1) 結果は全て0.1水準で有意

出典／Benesse教育研究開発センター「神奈川県公立中学校の生徒と保護者に関する調査報告書」(2010)

家庭の所有財得点（経済階層）と中学校入学以前の母親の学習関与度別に、生徒の家庭学習時間の違いを見ると、家庭の所有財得点の上位層・下位層にかかわらず、母親から中学校入学前に「しっかり勉強するよう」に言われていた生徒ほど、家庭学習時間が長かった。家庭学習習慣の定着と親のかかわりに有意な関連があることが分かる。

2 主体的に学ぶ意欲や態度を持っている生徒ほど、家庭学習時間が長い

■生徒の主体的に学ぶ意欲・態度と、家庭学習時間



注1) 結果は全て0.1水準で有意

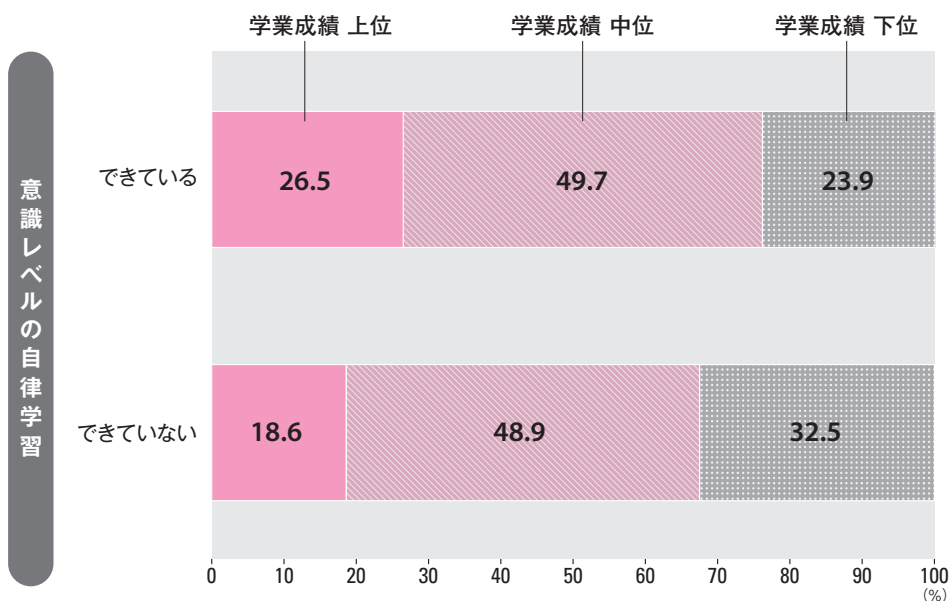
出典／Benesse教育研究開発センター「神奈川県公立中学校の生徒と保護者に関する調査報告書」(2010)

「ものごとがうまくいかないとき自分で原因や解決方法を考える」「うまくいかかわからないことにも意欲的に取り組む」といった主体的に学びに向かおうとする意欲や態度と家庭学習時間との関係を見ると、家庭の所有財得点（経済階層）の上位層・下位層にかかわらず、主体的に学びに向かう意欲や態度が身に付いている生徒ほど、家庭学習時間が長くなっている。

主体的に取り組む言語活動の工夫

3 学校での学習に同じ程度の意識で取り組む生徒の場合、自律的に学ぶ意識のある生徒ほど学力が高い

■自律的な学習の有無と成績の関係(授業態度が同レベルの場合)

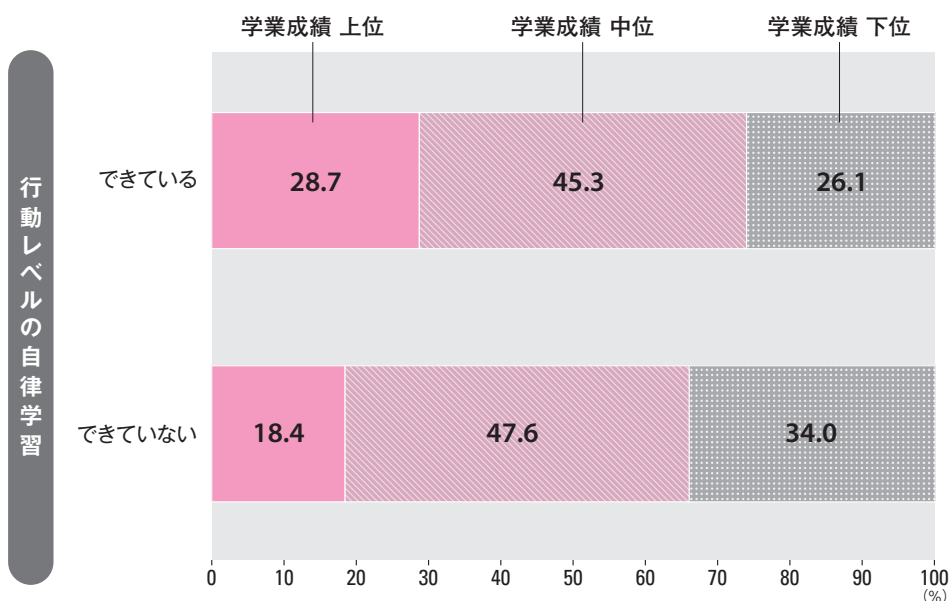


注1) 結果は全て0.1水準で有意
出典/Benesse教育研究開発センター「神奈川県公立中学校の生徒と保護者に関する調査報告書」(2010)

学校での学習に同じ程度の意識で取り組む生徒たちが、親に言われて積極的に勉強に取り組んでいるのか、親に言われなくても自分から積極的に勉強に取り組んでいるのかを学業成績で比較したところ、親に言われなくても自分から勉強に取り組んでいる、自律性の高い学習ができている生徒ほど学力が高くなっている。

4 家庭学習時間が同じ程度の場合、自律的に学ぶ意識のある生徒ほど学力が高い

■自律的な学習の有無と成績の関係(学習時間が同レベルの場合)



注1) 結果は全て0.1水準で有意
出典/Benesse教育研究開発センター「神奈川県公立中学校の生徒と保護者に関する調査報告書」(2010)

家庭学習時間が同程度の生徒が、親に言われて学習に取り組んでいるのか、親に言われなくても学習に取り組んでいるのかを学業成績で比較したところ、親に言われなくても自分から取り組んでいる、自律性の高い学習ができている生徒ほど学力が高くなっている。